

楽しく考えよう！ 私たちのまちづくり

手稲まちづくりがっこじゅい 楽しく

区内には、手稲のまちをより住みよいものにしようと活動を繰り広げている「まちづくり団体」がたくさんあります。こうした団体の活動を参考にしながら、手稲のまちづくりを楽しく考えてもらおうと、2月23日、手稲区民センターで「手稲まちづくり^{がっこじゅい}楽考」が開催されました。

そこでは、まちづくり団体による活動内容の発表のほか、手稲のまちづくりをさらに盛り上げていくにはどうしたらよいかを、来場者の皆さんで話し合いました。

今月は、各まちづくり団体の発表を中心に「手稲まちづくり楽考」の様子を紹介します。



▲350個のアイスキャンドルをともしました

星置
アイスキャンドル同好会
「アイスキャンドルで
憩いと潤いを」

星置の住民有志が、平成五年から毎冬、星置神社にアイスキャンドルを飾っています。これまで美しいアイスキャンドルを作るために、何度も苦労を重ねてきました。気温が十分低くならないと、容器に入れた水を野外で凍らせることができませぬ。試行錯誤を重ねた結果、平成七年からは、タンクにくみ上げた星置川の水を気温の低い手稲山までトラックで運んで凍らせています。昨年の大みそから正月の三日までは、三百五十個のアイスキャンドルをともしることができ、初もうでに訪れた多くの方に好評でした。

Team@hit.ac.jp (チームアットマークヒット.エーシー.ジェイビー)

「環境問題～より良い街づくり～」

自分たちができることから始めてみよう、身近なまちの清掃を行っている、北海道工業大学の学生ボランティアグループです。

昨年は小樽ドリームビーチで1回、大学周辺で1回、軽川で2回、清掃活動を実施。軽川ではおとしも清掃を行っており、通算3回の清掃を行いました。清掃では川岸の草むらのごみ拾いだけでなく、実際に川に入って底に沈んでいるごみをさらいます。まちを汚す人がいることにはがっかりする反面、通りがかった人に「頑張ってるね」と声を掛けられるなど、うれしいふれあいもあります。

実際に自分たちがまちをきれいにする達成感がうれしいという皆さんは、今後も地域のいろいろな人と手を携えながら清掃活動を継続していく予定です。



▲軽川へ入って清掃しました